

## 埼玉支部 8月度 沢登り「奥武蔵・兵の沢」報告

- ◆日程:2022年8月20日(土)
- ◆場所:奥武蔵・兵の沢(ヒョウノサワ)
- ◆参加者:轟涼(CL)、竹下智子、坪井沙也子
- ◆行程:芦ヶ久保・道の駅9:00集合  
芦ヶ久保・道の駅出発9:05—入渓点9:20身支度をして入渓点出発9:45  
—林道合流(終了点)着11:30—下山(芦ヶ久保・道の駅)12:00

兵の沢は、ロッククライミングで有名な『二子山』と同じ名前の里山、二子山(雌岳882.7m~雄岳882.8m)に登るハイキングコース沿いにあります。本格的な沢登りをする沢ではありませんが、入渓点までのアプローチまで短いことや登山道が並行していること、小滝が連続していることで、初めの一步にちょうどいい沢だと思います。

今回は、下見と同じ顔ぶれの三名、天気も同じ曇り、気温もほぼ同じの蒸し暑さでした。芦ヶ久保駅そばにある道の駅『果樹園公園 芦ヶ久保』で身支度を整えて出発しました。西武線のトンネルをくぐり抜けて、最初はちよつときつめ坂道のハイキングコースを十五分ほど歩くと、入渓点が見えてきます。ここでハイキングコースから外れます。沢脇の比較的広く平坦なところに降りて、ヘルメットをかぶり、ハーネスをつけ、沢靴に履き替えました。いよいよスタートです。



と、下見と同じと侮ることなかれ。下見から一か月ほどの間に台風が通過したからでしょうか、沢

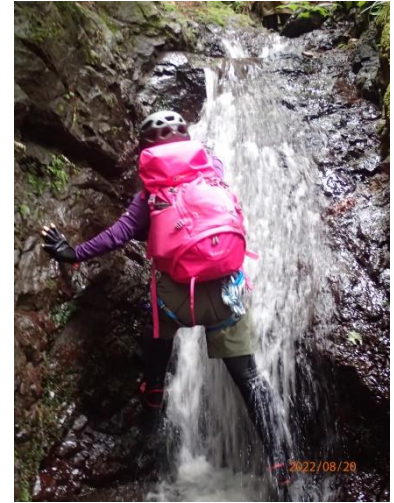
の様相が変わっていました。もちろん、沢の筋が変化していたなどといった大きな話ではありませんが、倒木や押し流された岩、山から流れ込んだ泥等により、幾分、野性味が溢れる沢になっていました。苔のヌメリも、下見のときとは違いました。転倒しないように気を引き締めて、歩きました。水温は冷たくありません。水量はほどほど、水深は足首程度から一番深いところでも膝より上くらいまでです。蜘蛛の巣を払いながら、足の着面に気を配り、手の置き場を探します。腰くらいまでの落差の小滝や倒木を乗り越えて遡行しました。





今回は先頭を交代制としたので、先頭として浮石や水流を見極めて判断し、安全かつワクワクできるコースを選んで進むことは貴重な経験でした。

しばらく行くと、沢が二股になっています。そこで道を左にとり、身長以上の落差がある小滝を三つほど乗り越えたら、終了点になります。下見ではロープを使い苦戦した滝も、奮闘してロープなしで乗り越えることができました。



今回は終了点にて一度沢からあがり少し下山し、懸垂下降で再び沢に戻りました。そして遡行し、三つの滝を超えて終了点に着いたのをゴールとし、本当に沢からあがり下山しました。全行程は三時間くらいでした。途中、沢登りはひと組、ハイキングコースを登っている方とは数組、出会いました。

ゴルジュから見上げる森で視覚を、沢の匂いで嗅覚を、水飛沫や苔、岩で触覚を、水の音で聴覚を刺激され、山の変化や自然の力を堪能できる山行でした。



おまけで、下山後、隠れ家カフェでランチ。カフェからの眺めと、料理、デザート的美味しいことといったら...。何回行っても楽しい沢です。

記:竹下智子